

令和3年12月定例記者会見

■日時：12月7日(火) 午後1時30分

■場所：宮古市役所4階特別会議室

会見項目

＜催事等＞

1. 第13回宮古地区学生研究・意見発表会
2. 日本フィルハーモニー交響楽団弦楽四重奏コンサート
3. 第50回元祖宮古鮭まつり ～大漁祈願祭～
4. 崎山貝塚縄文の森ミュージアム 第23回冬季企画展
「復興発掘調査展 -古代から近現代-」

会見内容

別紙資料1～4のとおり。

記者との質疑

＜第50回元祖宮古鮭まつり ～大漁祈願祭～ について＞

テレビ岩手

出店は何店舗か。

市長

25店舗の予定です。

テレビ岩手

その場での飲食は可能か。

市長

基本的にテイクアウト方式と聞いています。

河北新報

鮭豊漁祈願はどういうものか。

市長

鮭図画コンクールの入賞者が鮭の豊漁を祈願するというものです。

また、50回目の節目ということで、津軽石さけ繁殖保護組合に感謝状とフライ旗を贈呈します。

岩手日報

例年にまして鮭が不漁だが、会場で鮭の販売はあるか。

市長

鮭の販売はする予定で、鮭まつりの風景が出せるよう鮭を集めているところです。

《その他 キャトル宮古の閉館 について》

岩手日報

12月10日でキャトル宮古が閉館する。中心市街地の核となる施設であるキャトルの閉館に対する市長の受け止めは。

市長

口頭では聞いていますが、正式に通知などは届いていません。今後キャトルがどのようにしたいのかわかりかねています。

宮古市はテナントとして、すくすくランド、ジョブカフェ、ハーバーラジオがあり、移転の対応を進めているところです。キャトルの意思表示を待つそれなりの対応をしたいと思っています。

岩手日報

宮古市にとってキャトル宮古の位置づけをどのようにお考えか。

市長

多くのテナントが入っているので、商店街の中の位置づけは大きいものがあります。キャトルが閉店すれば、大きな影響が出るのが予想されます。キャトル自身の今後の方向性がわからなければ、市としてどういう支援ができるか方針も出せないと考えています。

《その他 三陸沿岸道路の全線開通 について》

朝日新聞

三陸沿岸道路が12月18日に全線開通する。市として、人を呼び込むための施策はあるか。

市長

宮古市に来て、泊って、食事をしていただいて、楽しんで帰ってほしいと思っており、そこは今までもPRしています。それを再度確認しながら、継続していきます。宮古市が目的地になるような、様々なイベント、魅力的な取り組みを発信していくことが、たくさんの人に来てもらえる状況を作ることになると考えています。

河北新報

12月18日に三陸沿岸道路が全線開通する意義はどう捉えているか。

市長

道は途切れていると効果は半減以下であり、全線開通することでいろんな動きができます。このエリアにおいて、なんの支障もなく人や物が動けることが大きな節目になると思っています。

河北新報

宮古仙台間の高速バス実証実験について、可能性、必要性についてどうお考えか。

市長

可能性は非常に大きいことから、宮城交通、県北自動車ともに実証実験を始めたものと思います。本格運行となるように、事業者と一緒に取り組みたいと思います。

宮古が最終目的地になるようなPRをしていきたいと思っています。現状では、仙台から宮古、宮古から仙台ということに慣れていない方が多いと思います。もっと宣伝していきたいと考えています。

《その他 コロナワクチン3回目接種 について》

テレビ岩手

3回目コロナワクチン接種についての取り組み状況は。

市長

12月6日から医療従事者の接種を開始しています。その次に75歳以上の接種を2月から、65歳～74歳までは3月、64歳以下は4月以降の予定です。

2回目の接種から8か月を経過した時点で接種券を発送します。65歳以上は場所と日時を指定した接種券を発送し、都合が悪い場合は連絡をもらい調整します。64歳以下はインターネット予約センターで予約する方法とします。

ただし、ワクチンの供給状況などにより、接種時期は前後する可能性があります、さらに早くできないか医師会と協議していきます。

《その他 子供への10万円給付 について》

朝日新聞

子供への10万円の給付金は国と同じ基準で給付か。

市長

5万円の現金分については、児童手当受給者に12月26日に振り込む予定で進めています。

クーポン分については、クーポンにするか、現金にするか検討中です。

《その他 年末年始、忘新年会等 について》

毎日新聞

年末年始、成人式にあたり市民にメッセージは。

市長

コロナ感染対策はしっかりとってほしいと思います。しっかり対策していれば、大きな感染にはつながらないと思います。成人式も昨年同様に行いたいと考えています。

河北新報

忘新年会のシーズンとなるが、市民の方や市職員へのお願いは。

市長

今の感染状況をみれば、感染対策をしっかりとったうえで会食することに対し、制約することは考えていません。

《その他 3月11日の追悼式 について》

毎日新聞

3月11日の追悼式について、宮古はどのような形となるか。

市長

市で追悼式を挙行したいと考えています。

《その他 県営災害公営住宅 について》

毎日新聞

県営災害公営住宅について、収入が15万8千円以下の方しか入れなかったが、25万9千円に引き上げとなる。家賃については、3LDKで7万7千円を4万3千円に引き下げることとしている。あまりにも空家が増えているため、このような対策をとることとしている。公営住宅の空き家が増えることにより、コミュニティの担い手不足や市町村の収入が入ってこない状況が生まれている。宮古市は3年前と同様に軽減措置を取る予定はあるか。

市長

今、資料など手持ちがないので、追ってお知らせします。

第 13 回宮古地区学生研究・意見発表会について

1 開催目的

宮古地区の高校生、学生に研究・意見発表の場を提供することで、学生が意欲的に研究・意見発表に取り組み、主体性や考える力を身に付けることにより、人材の育成を図ることを目的とする。

また、学生の研究・意見発表への取り組み・考え方を、保護者や市内中学生、市内企業等、地域の方に理解してもらう。

2 主 催 宮古市

3 後 援

岩手県沿岸広域振興局、宮古・下閉伊モノづくりネットワーク、宮古金型研究会、宮古商工会議所、一般社団法人宮古観光文化交流協会、宮古市教育委員会

5 日 時 令和 3 年 12 月 18 日（土）午前 9 時 30 分～12 時 30 分

6 会 場 宮古市地域創生センター
(宮古市神林 3 番 1 号)7 対 象 宮古地区の高校に通う高校生、学生
※学年は問わない

8 参加予定学校、発表テーマ

○宮古高等学校（2 グループ）

「宮古高校の植物について」 「サイフォンの原理と応用」

○宮古北高等学校（2 グループ）

「がん～若い世代へ伝えたいこと～」 「手話を当たり前にするためには？」

○宮古商工高等学校（4 グループ）

商業校舎：「宮古市移住定住パンフレット作成体験業務（報告）」

工業校舎：

「『電気と化学』燃料電池と電気鍍金（めっき）に関する実験」

「『建築設備科における、ものづくりテーマ』（木工製作・BBQ コンロ製作）」

「災害レスキューラジコンの研究」

○宮古水産高等学校（1 グループ）

「行政・大学・高校の共同開発 3」

○山田高等学校（2 グループ）

「震災復興『復活の記憶』」 「震災復興『碑（いしぶみ）の記憶』」

○岩泉高等学校（1 グループ）

「スマホとわたし。岩泉流防災システム。～本州一番の面積を持つ町を網羅する～」

(宮古地区の学校 6 校が参加予定)

【問い合わせ】

宮古市産業振興部産業支援センター 商業労政係

T E L : 0193-68-9067 F A X : 0193-63-9120

E-mail : sangyo@city.miyako.iwate.jp


 被災地に音楽を vol.303




音楽のおくりもの

日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーによる

弦楽四重奏コンサート

弦楽器が奏でる心地よい音で安らぎのひとときをお届けします。
普段着で楽しめるコンサート、お気軽にお越しください！



— 出演 —

日本フィルハーモニー交響楽団

- | | |
|----------|---------|
| ◆ ヴァイオリン | 町田 匡 |
| ◆ ヴァイオリン | 末 廣 紗 弓 |
| ◆ ヴィオラ | 児仁井 かおり |
| ◆ チェロ | 石 崎 美 雨 |

令和3年

12/18 (土) 14:00~15:00

入場
無料

宮古市総合福祉センター


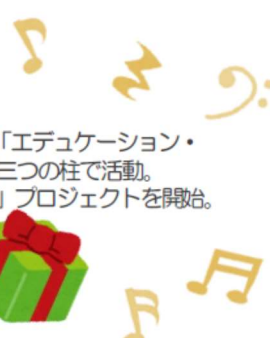
健やかホール (宮古市小山田二丁目9-20)

— 日本フィルハーモニー交響楽団 —

1956年創立。質の高い音楽をお届けする「オーケストラ・コンサート」、音楽との出会いを広げる「エデュケーション・プログラム」、音楽の力で様々なコミュニティに貢献する「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動。東日本大震災後は、聴衆からの募金や企業からの支援をもとに、ボランティア活動「被災地に音楽を」プロジェクトを開始。10年間で300回をこえる公演を実施。

お問合せ：
宮古市教育委員会 文化課
☎ (0193) 65-7526

主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
協賛：全国保証株式会社
協力：宮古市教育委員会、杉並区

第50回 元祖 宮古鮭まつり ～大漁祈願祭～

みやこ
冬の味覚
五大
まつり
第2弾

令和3年 12月19日(日)
10:00～14:00
うみどり公園
(旧宮古市役所跡地)

ステージイベント

- 10:00 オープニングセレモニー
- 11:00 宮水太鼓演奏ステージ
- 12:00 鮭図画コンクール市長賞
入賞者による鮭豊漁祈願
サーモンくん、みやこちゃん記念撮影会



- 13:30 お楽しみ抽選会

豪華景品が
当たるチャンス!

12月6日から、末広町・中央通り商店街等の
対象店舗で1,000円以上お買い上げごとに
抽選券を1枚プレゼント!!

市内の業者による飲食出店!! テイクアウト販売!!



岩手県立大学鮭応援隊プレゼント



サケの一生を体験できる
体験巨大すごろく

時間 / 10:00～14:00 料金 / 無料

12/4～12/19まで 買える! 食べれる!
宮古鮭 week
開催中!!



With コロナ! 新型コロナ感染防止のため、安全対策を徹底します

開催日2週間前において発熱、味覚や嗅覚の異常、感染症「陽性」とされた方との濃厚接触、当日の発熱、体調不良の方のご来場はご遠慮願います。

ご来場者は
次の事項のご協力
をお願いします

- 入場口受付で検温・記名・手指消毒をお願いします
- 大きな声で話さない
- 席の位置を動かさない
- 接触確認アプリ(COCCA)のダウンロード
- 他の来場者との距離を確保する
- 天候及びコロナウイルス感染の拡大状況によっては内容が変更または中止になる場合がございますのでご了承願います

COCOAのダウンロードはこちらから

Android



Google Play (Android 6.0以上)

iphone



AppStore (iOS 13.5以上)

【お問い合わせ先】 宮古鮭祭実行委員会事務局 (0193-62-3534)

主催：宮古鮭祭実行委員会 共催：宮古市 協賛：岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合宮古支部・休暇村陸中宮古・宮古市魚菜市場

宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム 第23回冬季企画展

「復興発掘調査展-古代から近現代-」実施要項

1 日 時

令和3年12月4日（土）～令和4年2月20日（日） 9：00～17：00
（最終入館16：30）

2 場 所

崎山貝塚縄文の森ミュージアム 企画展示室

3 主 催

宮古市教育委員会

4 内 容

第23回冬季企画展「復興発掘調査展-古代から近現代-」

◎宮古市教育委員会主体で実施した復興発掘調査 24 箇所のうち、古代から近現代の遺跡にスポットをあて宮古の歴史を紹介する。

- ①復興発掘調査について : 市内復興発掘調査分布図、復興発掘調査一覧
- ②復興発掘調査の意義 : 派遣職員の活躍、現地説明会、遺跡報告書の刊行
- ③海道蝦夷の躍動～古代～ : 古代の遺跡から出土した土器や土製品、金属製品
- ④戦乱の世を駆ける～中世～ : 中世の城館跡から出土した陶磁器など
- ⑤近世・近現代の遺構 : 近世の牛馬墓や防空壕跡

◎（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター主体で調査した遺跡については、出土資料を借用し一部を展示。

5 問い合わせ

市教育委員会文化課（崎山貝塚縄文の森ミュージアム）（65-7526）